

【埋蔵文化財センター】

埋蔵文化財センターの概要

- (1) 県内埋蔵文化財調査・研究
長崎県内に所在する遺跡の発掘調査や出土品の調査研究・収蔵保管を行う。
- (2) 出土品の保存処理・精密分析
先進的設備・技術により、遺跡から出土した木製品や金属製品などの保存処理や科学的分析を行う。
- (3) 東アジア考古学研究
本県の地理的歴史的特性を踏まえ、東アジア地域との交流に焦点をあてた考古学研究を行う。
また、釜山博物館との友好機関協定に基づき共同研究を進めるとともに、講座や研究紀要などで研究成果を公表し、東アジア考古学研究の深化と交流の拠点化を図る。

埋蔵文化財センター事業 (156,057千円)

- (1) 長崎県埋蔵文化財センターの管理運営
長崎県埋蔵文化財センターの適切な管理を行う。
- (2) 「しまの遺跡の魅力」探求事業
これまで行ってきた壱岐での発掘調査に加え、対馬・五島などの離島地区の遺跡を調査し、その成果について展示を行うほか、県内の高校生による埋蔵文化財を中心とした地域研究の成果発表会や、離島の高校生に対する出前授業等を行う。



長崎県埋蔵文化財センター・壱岐市立一支国博物館



原の辻（閩繰）遺跡の発掘調査



出土品の保存処理作業



巡回遺跡展（対馬市）

【埋蔵文化財センター】

重要遺跡情報保存活用事業（29,410千円）

（１）開発事業関連予備調査

国及び県が計画する公共事業に先立ち、埋蔵文化財保護と公共事業との調整を図るため、事業計画地において埋蔵文化財の分布調査や試掘範囲確認調査などの予備調査を行う。

（２）埋蔵文化財研修事業

県及び市町の埋蔵文化財担当職員を対象に、埋蔵文化財保護行政を遂行するために必要な法令制度の知識の修得や発掘調査技術の向上を目的とした研修を開催する。

水中文化遺産保存活用推進事業（2,922千円）

県内全域を対象にした水中遺跡の分布調査を行い、その所在や内容を把握し、周知を進めることにより、海洋開発と水中遺跡保護との調整を図る。



水中遺跡の分布調査